

2020年2月 (No.368)

主な内容とページ

新型肺炎、半導体に下降圧力、.....	1
2019年総括 国内生産は09年並み、メモリ崩壊.....	3
世界の動きに遅れ、日本の厳しい現実.....	4
高水準だった中国半導体輸入.....	4
半導体産業に新型肺炎ショック.....	5
中国の半導体消費は世界の過半？.....	5
混在だが依然として良好、米大手第4四半期結果.....	10
完璧主義を超えて(SRL だより).....	14

新型肺炎、半導体に下降圧力、

半導体市場は、回復傾向が出て来たが、新型肺炎の感染拡大で先行き不透明になりつつある。

1. 直近の19年第4四半期は、世界的には回復を持続したが、わが国半導体生産は、前年比で3割近くまで落ち込み厳しい状況に入った。
2. 米中貿易戦争さらに新型肺炎の影響が加わり、半導体需要は、下降圧力が高まっている。とくにわが国は苦境が重なる恐れがあり、今後の推移が懸念される。
3. 事態が収束、正常化を期待したいが、中国の対処それから2003年SARS感染拡大が契機とされるネット取引の普及など新たな変化にも注目。遠隔勤務・授業・治療など普及が加速されそう。

完璧主義を超えて

日本の文化、こだわりに職人技が知られている。とことん追求し、完璧なものを作り出す。「日本刀」は代表例の一つ。しかし、鉄砲に置き換えられ役目を終えた。それでも職人文化は受け継がれ、優れた日本製品を支えている。ドイツも完璧主義、職人技で知られ、ともに車などで高い競争力を持つのは偶然ではないと思う。

完璧主義、職人氣質は、リスクを取りたがらず完璧をめざす傾向があるという。効率性あるいは非連続的な破壊力とは異なるカルチャーで、市場からの要求への対応、タイムリーな活動など不得手な面がある。今の変革の時代には、多くの限界があるのも事実だろう。

ドイツのメディア企業は自分たちの文化の現状と、望ましい姿を『完璧主義からスピードへ、チームからネットワークのマネジメントへと明確化した』(マイケル・ウェイド IMD 教授)といわれている。わが国は、どうなのだろうか。職人氣質によるモノ作り力は健在としても、それを超えた新たな時代への取り組みが求められている。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。

2020 年 著作権所有 SRL

SRL Monthly Report

2020 年 2 月(毎月 1 回発行)第 31 巻 2 号(通巻 368 号)

発行元: 株式会社 SRL
〒188-0014 東京都 西東京市 芝久保町 3-1-35
TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023
編集・発行人/大竹 修

SRL Monthly Report

January 2020, No.368

Semicon Research Ltd.
3-1-35 Shibakubo-Cho, Nishitokyo-City, Tokyo 188-0014
Japan Mail: info@semiconresearch.co.jp
Publisher/Editor Osamu Ohtake

© (株)SRL 2020

購読料金1年分(12号)98,000円(税別)